

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
乳幼児期からの生活習慣(早ね早おき朝ごはん歯みがき)に対する意識向上事業		美原保健センター				
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2	
乳幼児期の生活習慣が確立する時期に、保護者への啓発を重点的に行い、意識を高めることで、美原区の子どもたちが望ましい生活習慣を獲得し、将来の生活習慣病を予防することを目的とする。	令和元年度に作成した「早ね早おき朝ごはん歯みがきで元気いっぱいニコニコ笑顔」冊子を増刷し、これまでの乳幼児健康診査などの機会に加え、コロナウイルス感染拡大予防のため休園・休校となった美原区内の学校・園にも配布し、生活リズムとむし歯予防の大切さを伝えることを通じて学童期の子どもにも生活習慣の大切を啓発した。	冊子の作成・配布数	/	作成数 1000冊	作成1,000冊 配布1320冊	
		むし歯予防の啓発人数	/	466人	435人	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
◎	2019年3月策定堺市歯科口腔保健推進計画(第2次)に於いても生涯を通じた健康づくりの中で、乳幼児期は口腔機能の育成やむし歯予防につながる規則正しい生活習慣を身につけることが大切だと位置づけられている。	◎	コロナウイルス感染拡大予防のため休園・休校となった美原区内の学校・園への生活習慣の乱れが課題として懸念されている現状の中、家庭で親子で楽しく学べる媒体は好評であった。今後も学校園と連携して保護者が主体的に健康的な生活習慣づくりを行うことができるよう支援する。	○	本冊子は、シールの貼付など、親子で一緒に毎日の生活習慣チェックを行うことができる内容であるため、子どもが興味を持って取り組みやすい。	
○	生活習慣形成期における3歳児健康診査で配布啓発することにより、効率的にアプローチすることができた。また、美原区内全小学校、幼稚園への冊子活用の声掛けにより、学校を通じてコロナ禍で登校できない期間等の生活習慣の見直しに活用することができた。					
⑤自立発展性	総合評価					
△	乳幼児期には規則正しい生活習慣を身につけ、学童期以降は自分自身で考えて意思決定し、自立した生活習慣を身につけるための学習の機会を増やすことは、生涯を通じた健康づくりの基盤となる。次年度以降はDVDを作成しコロナ禍でも学びを止めない環境づくりに努めていきたい。	○	妊産婦から乳幼児期の保護者を対象とし、美原区の子どもたちが望ましい生活習慣を獲得できるように健康教育や保健指導を進めてきた。また、学童期以降に自立した生活習慣を身につけるための学習の機会を確保できるには、学校園の連携・協働が欠かせない。コロナ禍で子どもたちの生活環境も不安定になりやすい状況下において、生活習慣を整える効果を理解し、行動変容を促すこの取り組みはさらに必要性が高まっている。今後もあらゆる場面で生活習慣の大切さを伝えていきたい。			
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	<p>幼児期、学童期での望ましい生活習慣の獲得の啓発法として、今後は啓発場面の多様化に対応するため、デジタル化をおこなう。</p> <p>生活習慣改善の重要性を学ぶ取り組みは福祉・教育・保健分野の各機関が各々取り組む必要性を感じているものの、関係機関同士がつながりを持って取り組むことは少ない現状がある。</p> <p>その中において、乳幼児の親子や学童が様々な場面で美原区の独自のツールである「早ね早おき朝ごはん歯みがきで元気いっぱいニコニコ笑顔」の冊子やDVDで学ぶ環境が整うことで世代の枠組みを超えて生活習慣の改善の重要性を学ぶことができる。</p>					